

自2025年 4月 1日
至2026年 3月31日

2025年度事業報告書

公益財団法人MR認定センター

2025年度事業報告書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

※以下表示金額は、税込価格である

1. 2025 年度事業の実施

2025 年度の事業は、2025 年 3 月 18 日に開催された公益財団法人 MR 認定センター第 65 回理事会において承認を得た「2025 年度事業計画」に基づき実施した。

2. 理事・監事・評議員

1) 評議員の選任

岡田安史氏の辞任に伴い、第 32 回評議員会にて安川健司氏を評議員に選任した。

2) 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

①第 66 回 6 月 3 日 於:ステーションコンファレンス東京 503 会議室

- ・2024年度事業報告書(案)を承認した。
- ・2024 年度決算報告書(案)を承認した。
- ・MR 認定要綱修正案を承認した。
- ・MR 認定要綱細則の決議方法及び細則で定める料金について承認した。
- ・システム改修による資金の調達が必要であり、基本財産の取り崩しを承認した。
- ・物価高に対応するため、職員給与の対応について承認した。
- ・第31回評議員会の招集を決議した。
- ・理事長及び専務理事より業務執行状況に関して報告した。

②第67回 8月4日(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ・MR認定要綱細則(案)について承認した。
- ・第32回臨時評議員会の開催を決議した。

③第68回 2026年1月13日

- ・第 32 回 MR 認定試験の可否結果について承認した。
- ・理事会開催月の変更について承認した。
- ・ガバナンスの充実強化について、各種規程等を策定することを承認した。
- ・2026 年度のキャッシュフローを改善するため資金調達の必要があり、資金調達の具

体策について審議した。

- ・制度改定に伴うコストの増加とコスト削減策について報告した。
- ・制度改定による影響と今後の課題について報告した。
- ・令和 8 年度の事業方針について報告した。
- ・理事長及び専務理事による職務の執行状況について報告した。

④第69回 2026年3月17日(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ・試験委員会運用規程(案)を承認した。
- ・教育研修委員会運用規程(案)を承認した。

⑤第 70 回 2026 年 3 月 17 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ・2026 年度に行う資金調達を、銀行からの当座貸越により調達することを決議した。
- ・2026 年度事業計画について承認した。
- ・2026 年度収支予算案について承認した。
- ・ガバナンス・コード(案)及び理事会運用規程(案)を承認した。
- ・定款の改正案を承認した。
- ・第 33 回臨時評議員会の開催を決議した。
- ・MR 基礎教育指定プロバイダーについて報告した。

(2)評議員会

①第 31 回 6 月 10 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ・2024 年度決算報告書(案)について承認した。
- ・MR 認定要綱改正(案)について承認した。
- ・資金調達のため、基本財産の取り崩しを決議した。
- ・2024 年度事業報告書について報告した。
- ・2025 年度事業計画について報告した。
- ・2025 年度収支予算について報告した。
- ・MR 認定制度改定について報告した。

②第 32 回 9 月 30 日(定款第 25 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ・安川健司氏を評議員として選任した。

3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

1) 第32回MR認定試験の実施

(1) 試験の実施

試験日時: 12月14日(日)午前9時30分より午後4時20分まで

試験地: 東京(武蔵大学)、大阪(大阪工業大学大宮キャンパス)

受験者数:

	合計	新規受験	再受験
受験者数(名)	1,216	1,062	154
申請者数(名)	1,265		

2) MR認定試験問題の作成及び合否判定

(1) 試験委員会の開催

第32回MR認定試験・スタートアップ試験委員会 4月23日実施

第32回MR認定試験の作問要領及び提出期限の確認を行った。

第32回MR認定試験運営委員会 9月19日実施

第32回MR認定試験問題について検討した。

第32回MR認定試験・合否判定試験委員会 2026年1月7日実施

第32回MR認定試験の結果を検討し、合否判定を実施した。

(2) 合否の判定及び合否結果の通知

- ・医薬品情報: 45点(80点満点) (56.3%)
- ・疾病と治療: 53点(110点満点) (48.2%)
- ・MR総論: 46点(80点満点) (57.5%)

第68回理事会(2026年1月13日)で承認を受けた後、1月28日付で受験者に試験結果を通知した。

	合計	新規受験	再受験
合格者数(名)	969	908	61
不合格者数(名)	247	154	93
合格率	79.7%	85.5%	39.6%

3) MR認定証の交付及び更新

(1) MR認定証の新規交付

第32回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった770名に対し交付した。

(2) 再交付

① 認定証

棄損・亡失などの理由により、749枚再交付した

②MR バッジ

企業からの申請を受け、377 個再交付した。

(3) 更新

認定証の有効期限が 2026 年 1 月末日の者を主な対象とし、5 年間の所定の認定研修を修了した者に対して、MR 学習ポータルに搭載された更新時確認ドリルの修了により認定証を更新した。

①MR 認定証の更新

更新要件(所定の認定研修及び更新時確認ドリル修了者)を満たした者 9,143 名に対して、「MR 認定証」の更新を行った。

②MR 基礎教育限定認定証での更新

更新要件のうち、更新に必要な最終年度の実務教育を修了認定されていない者 2,720 名に対して、「MR 基礎教育限定認定証」での更新を行った。

(4) 再受験科目の管理

不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

4) 2026 年度 MR 基礎試験の準備

(1) 2026 年度 MR 基礎試験要項の公表

MR 基礎試験要項を 2025 年 12 月 26 日に企業に通知するとともに、センターホームページに公表した。

試験形式	CBT方式	
試験会場	全国テストセンター約 280 箇所	
試験期間	第1回	第2回
	7 月 4 日(土)～12 日(日)	11 月 7 日(土)～15 日(日)
申込期間	4 月 20 日(月)～5 月 29 日(金)	8 月 3 日(月)～9 月 25 日(金)
受験資格	希望すれば誰でも受験可 (MR 認定証・合格証保有者等は除く)	
各科目の 問題数及び 試験時間	①医薬品産業と倫理・法規・制度: 60 問(60 分間)	
	②医薬品情報: 60 問(60 分間)	
	③疾病と治療: 70 問(70 分間)	
有資格者	医師、歯科医師、薬剤師の有資格者は上記①の科目合格により試験合格	
合格基準	評価スコア 650 以上(各科目、スコア範囲:最低 200～最高 950)	
結果通知	受験者へ合否結果とともに個人成績(評価スコア)を通知	

(2) 認定企業に対する説明

2025 年度システム認定講習会及び事後の個別質疑応答(3 月 6 日実施)において公表した MR 基礎試験要項に関する Q&A を認定企業に対して説明した。

4. MRの資質向上等に関する調査研究及び広報事業

1)調査研究事業

(1)MR 活動に関する実態調査(MR 白書)の実施

センターに登録している製薬企業 187 社と CSO12 社、卸 1 社(計 200 社)に対し 2025 年 3 月 31 日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、199 社から回答を得て、回収率は 99.5%であった。「2025 年版 MR白書」としてとりまとめた。

7 月 11 日に厚生労働省、日本製薬工業協会をはじめとする関係各所、及びセンター登録 200 社に「2025 年版 MR白書」を発送した。

(2)学会発表等

第27 回日本医薬品情報学会学術大会(2025 年 7 月 5 日～6 日、広島)

ポスター発表:「病院薬剤部門を対象とした新型コロナウイルス感染症流行前後における市販直後調査の応需状況と変化に関する全国調査」

2)広報事業

(1)MR フォーラム 2025

2026 年 4 月に予定されている MR 認定制度改定に向け、MR がその意義および具体的な改定内容を正しく理解し、医薬品情報を扱う者としての自覚と責任を改めて認識するとともに、プロフェッショナルとしての自信と誇りを醸成することを目的として、以下のプログラムを現地会場と Web ライブ配信によるハイブリッド形式で開催した。

①開催日及び場所

8月25日(月) 13:30～17:00、東京コンファレンスセンター品川

②プログラム

	開会あいさつ 公益財団法人MR認定センター 理事長 井廻 道夫
基調講演	医療従事者の向こうにいる患者を想うMRが行う情報提供の重要性 兵庫県立丹波医療センター 小児科医長 市川 裕太
講演1	MR認定制度改定の目的とプロセス 公益財団法人MR認定センター 専務理事 近澤 洋平
講演2	実務教育の変わること、変わらないこと 公益財団法人MR認定センター 教育研修部長 奥田 貴生
講演3	基礎教育学習・認定プログラム ～より高い学習効果を狙って～ 公益財団法人MR認定センター 教育研修委員・企業委員会委員長 アステラス製薬株式会社 カスタマーエクセレンス部 部長 森岡 真一
講演4	MRポータルで始まる学習と認定の自己管理 公益財団法人MR認定センター 事務局長・企画部長 小日向 強

	閉会あいさつ 日本製薬工業協会 常務理事 公益財団法人MR認定センター 理事 石田 佳之
--	--

③参加者数(会場+Web)

MR	310 名	38.7%
MR の上司	51 名	6.4%
教育研修担当	337 名	42.1%
上記 3 つ以外の企業所属者	69 名	8.6%
業界団体	4 名	0.5%
その他	30 名	3.7%
全体	801 名	100.0%

(2)大学での講義等

- ・5 月 8 日 東京薬科大学薬学部にて「医薬品情報特論」講義(WEB 講義)
- ・6 月 23 日、24 日 明治薬科大学薬学部にて「薬学への招待 医療と企業をつなぐ医薬情報担当者」講義

(3)学会等での展示及びシンポジウム

①日本薬学会第 146 年会

2026 年 3 月 27 日～29 日に関西大学千里山キャンパスで開催された学術集会でキャリアデザインセミナーと展示を実施した。

・キャリアデザインセミナー

第 2 日目(3 月 28 日)のランチョンセミナー枠で、本年会に参加した学生および教員を対象に以下のタイトルでセミナーを実施し、約 120 名の参加を得た。

タイトル	医薬情報担当者という選択肢 ～2026年度MR認定制度改定を控えて～
座長	佐村 優先生(帝京平成大学薬学部准教授)
演者	小日向 強(MR認定センター)

・展示

展示パネルと配布用リーフレットを 2026 年度からの MR 認定制度を紹介する内容に変更するとともに、発刊されたばかりの MR テキスト 2026 を展示し、来場した学生および教員に MR の紹介を行った。

なお、配布用リーフレットには 2026 年度から運用する「基礎教育指定プロバイダー」として指定された 5 社の紹介を掲載した。

②JASDI フォーラム

フォーラム委員として参加し、令和 7 年度第 1 回のテーマとして「医療に貢献できる医薬品情報の提供活動 -薬剤師と MR の関わり方について考える-」を実施した。

(4)2026 年度 MR 認定制度改定に関する「記事広告」

①薬事日報への記事広告掲載

10 月 24 日付紙面に「臨床課題、患者を思える MR に」と題した記事が掲載された。
MR フォーラム 2025 において基調講演で登壇いただいた市川裕太先生の内容をもとに記事化された。

②薬学生新聞

2026 年度のキャッシュフローの見込みを鑑み、掲載を取りやめた。

③Monthly ミクスへの記事掲載

2025 年 9～11 月号にかけて 3 連載の記事が掲載された。

	タイトル
シリーズ	Marketing & Strategy MRの存在意義を自らの手で証明しよう
第1回 (2025年9月号)	大きく変化するMR認定制度 26年4月改定へ 自分に何ができるか ～小さな一歩が未来を変える
第2回 (2025年10月号)	実務教育 より実践的な学びで資質向上へ 実地の取り組みも評価対象に 評価基準も刷新
第3回 (2025年11月号)	基礎教育 テスト&ドリル&テスト方式に 主体的な学びにより基礎知識を維持・向上

(5)就職支援を行うベンダーを通じた職種紹介

①薬学生ためのオンラインカレッジ

薬学部の就職活動を行う学生を対象として、以下のタイトルでセミナーを行った。
「一人でも多くの患者さんに、一つでも多くの適切な治療選択肢を届けたい ―医薬情報担当者(MR)の社会的使命とその資質を担保する MR 認定制度―」

2025 年 4 月 26 日(土)ライブ配信:86 名視聴

2025 年 6 月～26 年 2 月にアーカイブ配信:456 回視聴

②未来を拓く学びの場「My career Study」

高校生、大学 2 年生までを対象とした職種紹介の動画コンテンツ 6 本を収録、2025 年 10 月 7 日～(現在も公開中)で配信した。

「医療現場を支える MR とは？ ―MR の仕事を徹底解説！―」

受講ページ閲覧数(のべ):1933 回

受講ページ閲覧者数:137 名

視聴者数:76 名

(6)センターウェブサイトの再リニューアル

制度改定に伴い情報を一新し、MR 認定取得者に対して主体的な制度運用に十分な情報提供を行うことを目的に 9 月から準備に着手し、2026 年 4 月 1 日公開までの準備をすべて完了した。

一部、チャットボットの採用見送りに伴い、検索機能の追加及びQ&A表示機能の強化などを盛り込む追加対応を決定し、5 月中旬ごろ搭載を目標に準備を進めている。

5. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

1) 教育研修システムの認定及び再認定

(1) 教育研修システム(企業・実施機関)の認定及び認定辞退

新規に教育研修システムの認定を4社行った。法人の破産、業務縮小に伴い2社の登録を解除した。また、MR基礎教育実施機関からMR基礎教育指定プロバイダーへの移行により5社の登録を解除した。2026年3月31日現在センター登録企業数は、202社である。

(2) 教育研修システムの再認定

新制度移行に伴い、2026年4月から新制度の教育研修システムの要件を満たした体制で認定制度を運用するため、第64回理事会(2025年1月開催)での「再認定」実施の承認に基づき、センター認定企業の再認定を実施した。再認定の要件を「教育研修システム認定講習会」の参加および、自己点検の実施・提出とした。

① 教育研修システム認定講習会

開催日： 東京会場:2026年2月18日(水) 大阪会場:2025年2月20日(金)

受講料： 1名につき7,700円(税込み)

参加者： 206社 370名(会場参加東京197名、大阪57名、Web参加116名)

これに加え2026年度に新規システム申請を予定する2社2名がオブザーバー参加した。

プログラム：

開会挨拶	専務理事 近澤 洋平
1. 現行制度に基づく2025年度内の対応事項	
① 現行制度の基づく2025年度内の対応	教育研修部長 奥田 貴生
② 移行後の注意事項	企画部課長 渡邊 希代子
2. 新制度への移行と推進	
① 新制度への移行と推進	事務局長・企画部長 小日向強
② MR 基礎試験	試験事業部長 楳坂宏
③ 生涯学習	教育研修部長 奥田貴生
④ 新制度からの認定証関連とMR バッジの各種申請について	企画部課長 渡邊希代子
3. 認定企業・MR とのコミュニケーション	
① 認定企業とのコミュニケーション	教育研修部長 奥田貴生

② MR フォーラムについて

企画部課長 渡邊希代子

なお、2025 年度教育研修システム認定講習会の質問について、後日(3 月 5 日、6 日)に Web による質疑応答を受け付け、希望のあった 13 社に対し個社毎に実施し新制度運用の理解促進を図った。

②自己点検

MR 認定制度を円滑にかつ適正に運用するとともに、教育研修の質を確保し、向上させることを目的として、認定企業各社による自己点検を 2025 年 9 月から 2026 年 2 月までの期間で実施し、すべての認定企業から提出された。

点検項目は、認定企業の制度の理解を促し、運用を円滑にし、誤りを未然に防ぐことを目的に設定し、自己点検結果で不十分な項目があれば、認定企業が自ら改善に努めることを原則としている

(3)教育研修体制の整備

MR 基礎教育指定プロバイダーの新設

MR 認定制度の趣旨を理解し、MR を志し MR 基礎試験の合格を目指す個人に対して、MR テキストの内容を学習するコンテンツの提供、及び MR 基礎試験受験までの相談支援を行うことができる事業者として、センター理事長が指定する MR 基礎教育指定プロバイダーを新設し、MR 基礎試験実施機関である 5 社からの新規指定申請を受け付け、指定を行った。

2)教育研修の修了認定

(1)導入教育及び継続教育の修了認定

2025 年度の教育研修(導入・継続)の計画の届け出の受付並びに実施申請の修了認定数、修了者数は下表のとおり。

教育研修 種類	計画届出 受付数	実施申請 修了認定数	修了者 人数
導入	102	100	933
導入(基礎)	30(4)	29(4)	251(4)
導入(実務)	32	30	155
導入(有資格者)	9(2)	9(2)	11(2)
導入教育_計	173(6)	168(6)	1,350(29)
継続(基礎)	3	3	2,738
継続(実務)	207	205	49,728
継続教育_計	210	208	52,466

():実施機関での受講数

(2)MR 復帰プログラムの修了認定

472 名が MR 復帰プログラムにより修了認定された。

なお、復帰プログラムを実施した認定企業数は 84 社であった。

3)教育研修委員会の開催

前任期より重任として、2025 年 4 月から 2027 年 3 月の任期にて委員長、各委員を委嘱し実施した。なお、2026 年 3 月にて 2 名の委員が離任した。また、2026 年 4 月から 2027 年 3 月の任期にて 3 名の新任委員の選定を行った。

(1)第 66 回委員会(2025 年 9 月 11 日(木)17:00-19:00 ハイブリッド開催)

- 承認事項 1: 自己点検項目について
- 承認事項 2: 指定事業者の要件について(実施機関の今後の対応)
- 承認事項 3: MR の資質の定義について
- 承認事項 4: 実務教育の修了認定に関する課題
- 承認事項 5: 企業委員会の第 2 期の設置について
- 報告事項 1: 2024 年度の実務教育結果について
- 報告事項 2: 実務教育進め方手引きについて

(2)第 67 回委員会(2026 年 3 月 3 日(火)17:00-19:00 ハイブリッド開催)

- 報告事項 1: 教育研修委員会運営規程について
- 報告事項 2: 企業委員会活動報告と第 2 期の運営について
- 報告事項 3: 自己点検結果速報と得られた課題について
- 討議事項 1: 教育研修委員会から企業委員会への諮問事項について

4)企業委員会の開催

MR 認定制度改定の趣旨を踏まえ、生涯学習の促進と企業における教育研修の適正な実施・管理に向けて、生じうる課題とその解決策について検討し、且つ、その妥当性を確認することで、制度運用の実効性を向上することを目的に計 4 回開催した

(1)第 1 回委員会(2025 年 4 月 22 日(火)17:00-19:00 アステラス製薬株式会社)

- 検討事項 1: 更新申請プロセスと救済プログラムについての再提案
- 検討事項 2: MR 認定要件の MR 経験 6 か月の経過措置について
- 検討事項 3: 基礎教育学習・認定プログラム等の料金改定について
- 検討事項 4: 実務教育の導入・継続研修の名称変更について
- 検討事項 5: 自己点検項目の検討
- 報告事項 1: 第 65 回教育研修委員会報告

(2)第 2 回委員会(2025 年 6 月 2 日(月)16:00-18:00 アヅヴィ合同会社)

- 検討事項 1: パイロット運用の課題
- 検討事項 2: MR 認定制度改定のコミュニケーションについて
- 検討事項 3: 自己点検項目の検討
- 報告事項 1: MR 認定要綱及び細則の改正について

(3)第 3 回委員会(2025 年 8 月 22 日(金)16:00-18:00 アステラス製薬株式会社)

- 検討事項 1: 導入/継続プログラム運用上の課題
- 検討事項 2: MR の資質の定義
- 検討事項 3: 実務教育の進め方手引きについて

- 検討事項 4: 自己点検項目の検討
検討事項 5: 第2期企業委員会について

(4)第4回委員会(2025年11月21日(金)16:00-18:00 武田薬品工業株式会社)

- 検討事項 1: 生涯学習の指標について
検討事項 2: 第2期企業委員会について
報告事項 1: 第66回教育研修委員会報告
報告事項 2: チャットボットについて

5)第2期企業委員会の設置と新任委員の公募

新制度施行後の課題解決やMR認定制度の更なる発展に向けて、教育研修委員会の承認を受け、第2期企業委員会を設置することとした。また、新任委員の公募を実施した。

第2期は2026年度および2027年度の2か年で運営することとし、当期間を任期とした公募への応募者に対して書類審査および面接を実施し、5名の新任委員を選出した。

委員長、副委員長を含む第1期からの重任者5名と新任者5名の計10名にて委員会を実施する。

6)MRの資質の定義改定

MRの生涯学習により向上が求められるMRの資質「知識」、「技能」、「倫理観」について、企業委員会での検討と教育研修委員会での審議を経て以下のごとく改定した。

-知識-

医学・薬学、倫理、法規や医療制度などの基礎的なものから、自社医薬品およびその関連領域など実践的なものまで、背景や根拠とともに体系的に習得し、継続的に更新され、医療関係者との専門的な対話に活用できる情報

-技能-

医療関係者と良好な関係を築き、医療関係者が抱える医療における課題、ニーズを的確に捉え、理解するとともに、科学的根拠に基づく医薬品の適正使用に関する情報を、正確に、簡潔に、適切に提供・収集・伝達できる力

-倫理観-

専門職としての役割と使命、製薬企業の社会的責任を自覚し、医療の公共性と安全性および患者志向を優先して位置づけ、法令・規範・社内ルールを遵守することはもとより、誠実・公正で、透明性のある態度と行動を貫くための判断軸及び行動原則

6. MRおよび教育研修担当者への支援等の教育研修環境整備事業

1) 教育研修の企画・実施に関する支援事業

(1) 教育研修推進者会議

開催日: 2025年10月15日(水) 対面・Webのハイブリッド開催

参加料: 1名につき5,500円(税込み)

参加者: 174社、303名(会場: 131名、Web: 116名)

プログラム

開会挨拶	専務理事 近澤 洋平
MR認定制度改定にむけての確認事項	事務局長・企画部長 小日向 強
基礎教育の運用にあたって、MRの自律を促すために手放すこと、支援すること (グループディスカッション①)	
新制度施行に伴い、実務教育導入/継続プログラムの実施に向けて準備を進めていること、課題解決に取り組んでいること (グループディスカッション②)	教育研修部長 奥田 貴生
実務教育に関する連絡事項	教育研修部長 奥田 貴生

(2) 実務教育進め方手引きの発行

MR認定制度改定に伴い、その趣旨を反映した実務教育に関する共通認識を形成し、導入/継続プログラムの効果的な実施を啓発・支援する教育担当者用手引きを発行した。

当手引きは、センターWebサイトに掲載するとともに、認定企業の教育研修三役、理事、関係団体、本町記者会等に冊子を送付した。

2) MR サポート対策

MR個人からの様々な問合せにセンター事務局の人員を割くことなく対応できる仕組みを新たに導入することを検討し、最終的にコールセンター業務を委託することによりMRの自律を促進する体制を構築した。

(1) チャットボット採用の検討

5月より、ウェブサイトに掲載するチャットボットの採用を検討した。16社をリストアップし、サービス内容およびコストを比較した上で、5社から具体的な提案を受領した。その結果、導入準備および運用における人的・費用的コストが最も低いと見込まれる1社に絞り、パイロット運用として採用した。

しかし、センター事務局での準備および企業委員会委員による試用を経た結果、安

定かつ信頼性の高い回答が得られる見込みが立たないと判断し、チャットボットの採用を中止した。

(2)コールセンターの設置

チャットボットの採用を中止したことを受け、代替のサポート体制として外部コールセンターの設置を検討した。MROを構築・管理している株式会社ウィルウェイにコールセンター業務を委託することとし、3社からサービス内容および費用の説明を受領した。運用における人的・費用的コストを比較検討した結果、1社に委託先を決定した。12月に、2026年4月からの運用開始を目標として準備を開始し、3月末までに準備を完了した。4月1日より、「MRサポートデスク」と名称を定め、運用を開始した。

3)MR 認定制度 2026 年度改定に向けた準備

MR 認定制度の 2026 年度改定にあたり、認定企業が所属する MR に対して制度改定内容を適切に周知することが極めて重要であることから、その前提として、認定企業の教育研修担当者が改定の趣旨、目的および運用面の変更点について十分に理解することを目的に、前年度に引き続き企業との意見交換会を実施した。あわせて、所属 MR をはじめとする認定取得者の制度改定への理解促進を図るため、ウェブサイトでの告知を行うとともに、認定企業を通じて MR に制度改定内容を説明するための資料を提供した。

(1)企業との意見交換会の実施

①第 1 回(東京・オンライン:5 月 20 日、大阪:5 月 16 日)

1. MR経験6ヵ月の経過措置について
2. 実務教育の導入・継続研修の名称変更
3. 基礎教育学習・認定プログラムの料金改定
4. 企業委員会で検討中の自己点検項目案に対する意見聴取
5. 実務教育認定基準のパイロット運用初期段階での課題

②第 2 回(東京・オンライン:7 月 16 日、大阪:7 月 11 日)

1. パイロット運用から得られた課題
2. サポート体制構築とMRへのコミュニケーションプランのスケジュール
3. MRポータル画面イメージ紹介
4. 各種申請プロセスの紹介
5. センターの広報活動の取り組み紹介

③第 3 回(東京・オンライン:9 月 29 日、大阪:9 月 26 日)

1. 要綱・要綱細則に関するQ&A
2. 自己点検2025年度実施方法と再認定に関するQ&A
3. MRへのコミュニケーションツールに対する意見
4. 実務教育実施の課題

(2)センターウェブサイトでの制度改定特設サイトの設置と公開

トップページに導線となるイメージ画像を配し、順次以下のとおりテーマを設定し公

開した。

- ・ 2026年4月MR認定制度が大きく進化します(2025年4月公開、8月更新)
- ・ 実務教育について(2025年5月公開)
- ・ 基礎教育について(2025年6月公開)
- ・ MR基礎試験の概要(2025年7月公開)
- ・ 認定更新申請について(2025年12月公開)
- ・ 認定切替申請について(2025年12月公開)
- ・ 新規認定申請について(2025年12月公開)
- ・ MRポータルについて(2026年1月公開)
- ・ MR基礎試験の受験に向けて(2026年1月公開)
- ・ 認定証・MRバッジの再交付申請について(2026年2月公開)
- ・ 登録情報の変更について(2026年2月公開)
- ・ 合格の有効期限の更新(2026年2月公開)

(3)認定企業を介した MR へのコミュニケーション

MRの自律に向けて、認定企業の管理体制の見直しも視野に入れた認定制度改定に関する解説用資料を4回に分けて提供した。

第1回:2025年8月29日	MR認定制度改定の趣旨/概要/背景、 基礎教育(基礎教育学習・認定プログラムの概要)
第2回:2025年10月29日	実務教育
第3回:2025年12月17日	各種申請方法、サポート体制
第4回:2026年3月6日	MRポータル

7. 出版事業(定款第4条第3号関係)

1)MRテキスト 2025

(1)紙版の頒布価格及び頒布部数

紙版の頒布は、12月24日(水)をもって終了した。

書籍名	税込価格	頒布部数
MRテキスト2025 医薬品情報	8,800円	374部
MRテキスト2025 疾病と治療	16,500円	300部
MRテキスト2025 MR総論	9,350円	353部

(2)在庫の廃棄処分

在庫は2026年3月28日に溶解処分し、485,780円の資産減となった。

書籍名	仕入単価	廃棄部数	廃棄資産
MRテキスト2025 医薬品情報	2,186.80円	39部	85,285円
MRテキスト2025 疾病と治療	6,571.51円	5部	32,858円
MRテキスト2025 MR総論	2,806.39円	131部	367,637円
資産減合計			485,780円

(3)電子版の価格及び契約数

MRテキスト2025 電子版は、1アカウントあたり1,650円とし4月1日～2026年3月31日閲覧可能とした。なお、2026年3月15日を利用申込最終日とした。

	税込み価格	アカウント数
電子版(4冊のテキストを閲覧可)	1,650円	2,040件

2)MR テキスト 2026 への改訂と頒布開始

(1)2025 から 2026 への改訂

誤植修正、法令改正およびMR認定制度改定を踏まえ、各科目の改訂を行うとともにMR総論の科目名変更に伴う章立ての構成変更を行った。なお医薬品情報、疾病と治療の修正箇所については、試験委員の監修のもと、最終化した。加えて、改訂箇所をリスト化し、12月22日にウェブサイト上で無償公開した。

制作費用は紙版、電子版の制作一式で40,133千円であった

(2)MR テキスト 2026 紙版の印刷部数

紙版の印刷部数は、予約受注数をもとに例年の通常販売部数を考慮し決定した。

書籍名	印刷部数
MRテキスト2026 医薬品情報	1,400部
MRテキスト2026 疾病と治療	1,400部
MRテキスト2026 医薬品産業と倫理・法規・制度	1,500部

(3)紙版の頒布開始

12月1日(月)～2026年1月9日(金)の期間限定で予約受注を受け付け、2026年3月10日着日指定で受注分を発送した。

書籍名	税込価格	頒布部数
MRテキスト2026 医薬品情報	8,800円	1,054部
MRテキスト2026 疾病と治療	16,500円	1,044部
MRテキスト2026 医薬品産業と倫理・法規・制度	9,350円	1,197部

3)MR 学習ポータル

(1)MR 学習ポータルの利用実績

MR 学習ポータル(有料版)は、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の期間で利用可能とした。

	税込価格	アカウント数
MR学習ポータル(有料版)	2,079円	64,865件

(2)MR 学習ポータル(有料版)の内訳

	税込み価格	センター事業区分
更新時確認ドリル及び更新手続き	649円	公益1(試験)
基礎教育年次ドリル	275円	公益2(教育研修)
MRテキスト2025(電子版)	1,155円	収益

(3)次年度のドリル掲載準備

基礎教育年次ドリルおよび更新時確認ドリル

2026 年度版用ドリル問題 1092 問の作成を 5 社に 5 月 13 日までの納品を条件に委託した。

4)その他の冊子の作成と頒布

- ・「まんが MR 物語 改訂版」
- ・「MRの果たすべき役割 改訂版」
- ・MR認定要綱解説書 2021 年 3 月
- ・MRの資質向上を目指した継続教育の充実について 2018 年 2 月
- ・MR継続教育進め方手引き 2019 年 3 月
- ・MR認定センター事業構造改革検討会検討結果報告書 2019 年 4 月
- ・MR認定センター20 年史 2019 年 10 月
- ・MR認定制度抜本改革の検討結果報告書 2020 年 8 月

8. 設備投資等について

当該年度の設備投資の総額は、66,433 千円であった。

1) MROの改修

・MR認定制度改定に伴い、公益目的事業に係るITシステム「MRO」の改修を実施し、44,395 千円の設備投資を行った。

2) MR学習ポータル改修

・MR認定制度改定に伴い、公益目的事業及び収益事業に係るITシステム「MR学習ポータル」の改修を実施、22,039 千円の設備投資を行った。

以上

2025 年度「事業報告の附属明細書」について

2025 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”が存在しないので附属明細書を作成しない。

以上